

Meda

について



メダ

メダ (Meda) は中世にキリスト教徒とイスラム教徒が激しい戦闘を繰り広げたところです。当時は戦闘が起きるのは国境の町と決まっていた。その監視塔（以前はトーレ・デ・ヴィジア (Torre de Vigia (見張りの塔)) と呼んでいましたが、今日ではトーレ・ド・レロージオ (Torre do Relógio (時計塔)) と呼んでいます) は、近くのロングロイヴァ (Longroiva) とマリアルヴァ (Marialva) の城と共に、この地域の防衛に最も重要な戦略地点の1つでした。

今ではメダは静かな町で、ワイン作りをはじめとする農業が主な産業となっています。